

第2回刈羽村景気ウォッチャー調査 概況

1. 調査日 令和4年5月2日

2. 調査対象
対象事業所数 154事業所 (商工会法定会員)
回答事業所 94事業所 (回答率: 61.0%)

3. 調査対象時点 令和3年10月～令和4年3月期を対象とした。

4. 調査方法 刈羽村と共同で実施し、商工会で調査票を対象事業所に郵送し、令和4年5月20日までにFAX等により回答いただいた。調査集計は刈羽村産業政策課で行った。

5. 概要

売上高、営業利益ともに悪化傾向が強まっています。調査期間内に新型コロナウイルス感染症拡大の第6波が含まれているための影響が表れたものと考えられます。業種的にはあまり大きな偏りは見られないが、活関連サービス、卸小売業、建設業で悪化傾向が大きい様子です。また、経営課題、悩み事の調査項目では、「原材料、資材の高騰」を回答する事業者が急増しており、この傾向は業種を問わず強まっており、現在の社会情勢を反映した形となりました。感染症拡大の影響と共に今後注視すべき課題であると考えます。

(1) 売上高

直近6ヶ月の売上合計額については、回答事業所の約61.7%が前年に比べて減少したと回答しており、今後6ヶ月の売上見通しについても約61.7%が減少すると回答しています。この数値は、前回調査に比べて上昇(悪化)しており、生活関連サービス、卸小売業、建設業で厳しい状況となっています。

(2) 営業利益

営業利益は、直近6ヶ月との比較については「変わらない」と「減少する」が4割づつと大半を占めています。今後の見通しについても同様に、前回の調査と比べ「増加する」が大きく減少しています。

(3) 設備投資

設備投資については、実施していない事業者が 61.7%と半数以上を占めています。実施した事業者についても金額は 500 万円以下が 80.5%と大半を占めており、設備投資に関しては消極的な状況が続いています。

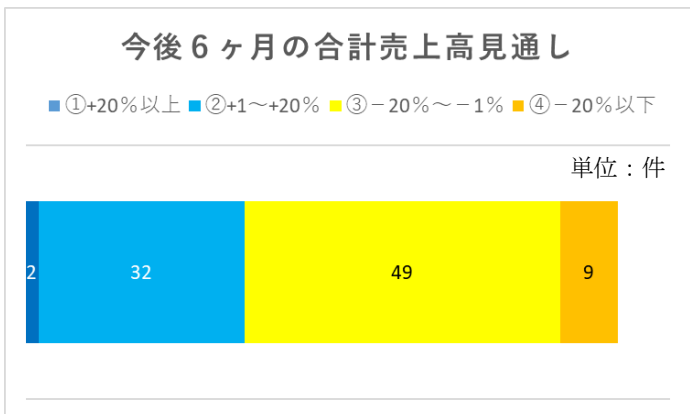
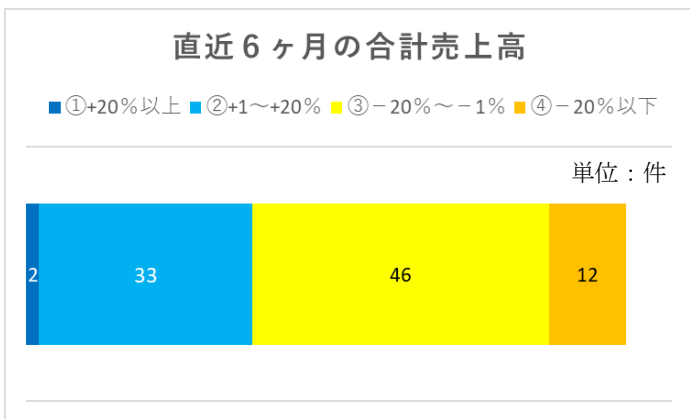
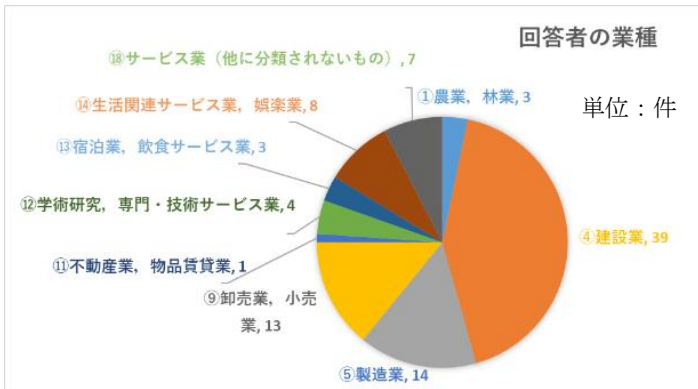
(4) 経営課題、悩み事

前回調査と同様の傾向で、経営上課題・悩み事の上位 3 項目には「売上高、営業利益の伸び悩み」「原材料、資材の高騰」「人手不足」が多く示されています。特に、「売上高、営業利益の伸び悩み」は約 59.6%と半数以上が回答しており最多となっています。「原材料、資材の高騰」については、前回 2 位の「人手不足」を上回り急増しました。この傾向は業種を問わず強まっています。

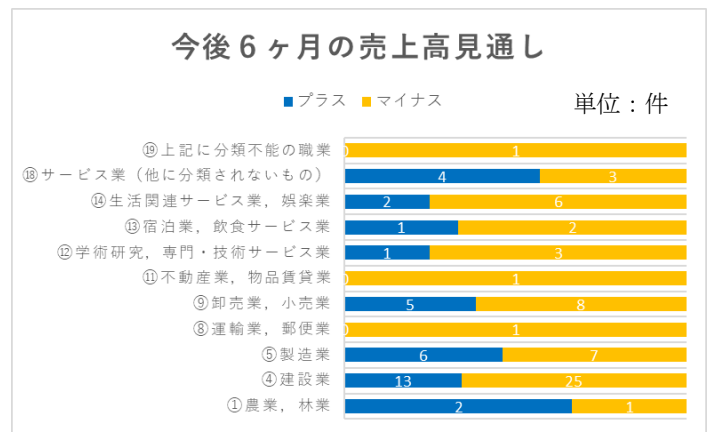
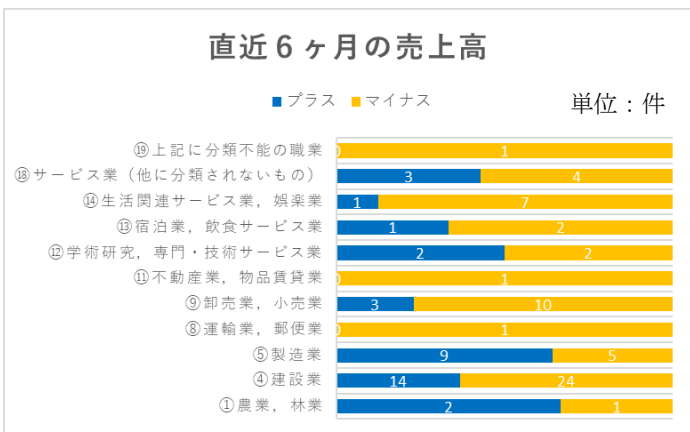
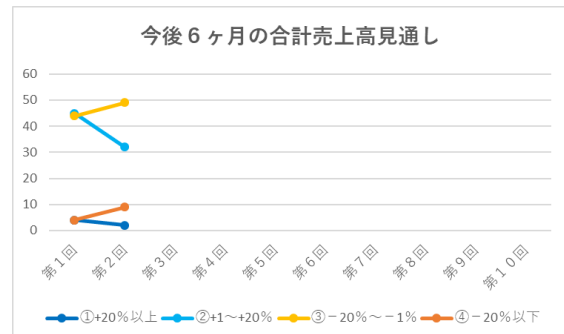
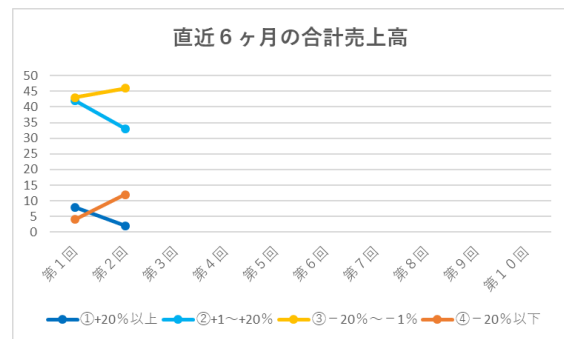
(5) 新型コロナウイルス感染症の影響、その他

直近 6 ヶ月との比較については、「影響を受けている」「どちらかと言えば影響を受けている」と回答している事業者が約 72.3%と大半を占めています。いわゆる第 6 波の期間を含んでいたため、その傾向が強まったと考えられます。また、今後の見通しについても「影響を受ける見込みだ」「どちらかと言えば影響を受ける見込みだ」との回答が約 75.5%を占めています。新型コロナウイルス感染症の拡大は落ち着きを見せてきていますが、まだまだ業種を問わず新型コロナウイルス感染症の影響を受ける見通しが優勢を占めています。

6月2日時点の回答率 61.0% (94件/154件)



売上高は直近、今後の見通し共にマイナスが上回る。前回よりやや悪化。生活関連サービス、卸売、小売、建設で厳しい。卸売、小売は見通しややよし。



直近6カ月の営業利益

■①かなり増加する ■②増加する ■③変わらない
■④減少する ■⑤かなり減少する

単位：件



営業利益は直近、今後の見通し共に「変わらない」と「減少する」が4割ずつ占める。前回と比べ「増加する」が大きく減少。業種による傾向はあまり見られない。

今後6カ月の営業利益見通し

■①かなり増加する ■②増加する ■③変わらない
■④減少する ■⑤かなり減少する

単位：件



直近6ヶ月の営業利益

■プラス ■変化なし ■マイナス

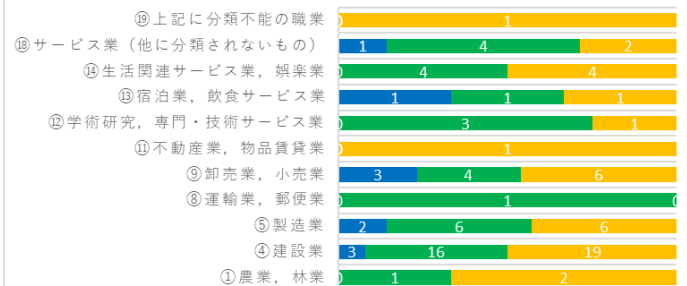
単位：件



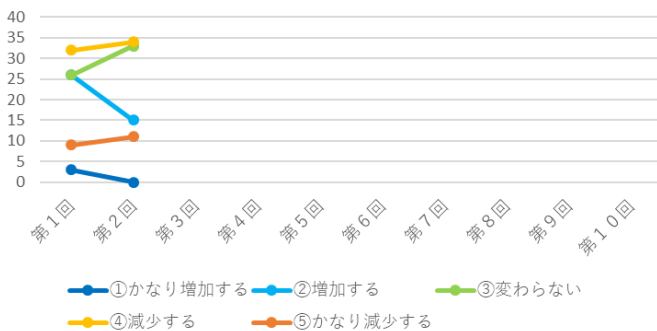
今後6ヶ月の営業利益見通し

■プラス ■変化なし ■マイナス

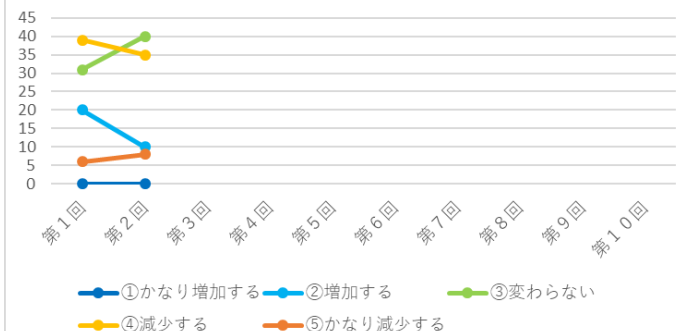
単位：件



直近6ヶ月の営業利益



今後6ヶ月の営業利益見通し



直近6カ月の設備投資

- ①実施無
- ②～100万円
- ③100～500万円
- ④500～1,000万円
- ⑤1,000万円以上

単位：件



設備投資は実施無しが優勢。前回同様≤500万円の設備投資は30件近くにのぼる。生活関連サービス、宿泊・飲食、卸売・小売、製造、建設で弱い傾向も前回と変わらず。

今後6カ月の設備投資見通し

- ①実施無
- ②～100万円
- ③100～500万円
- ④500～1,000万円
- ⑤1,000万円以上

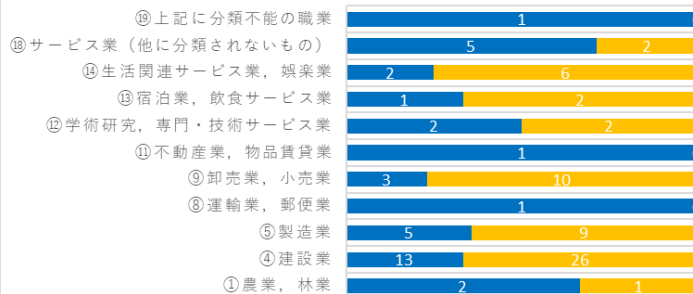
単位：件



直近6ヶ月の設備投資

- あり
- なし

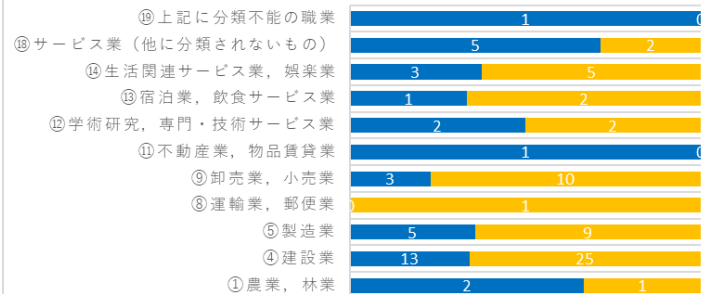
単位：件



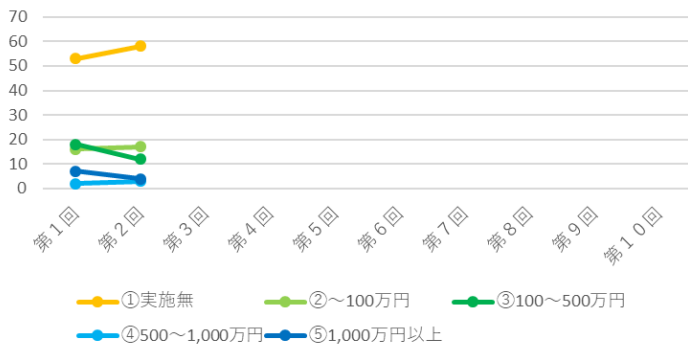
今後6ヶ月の設備投資見通し

- あり
- なし

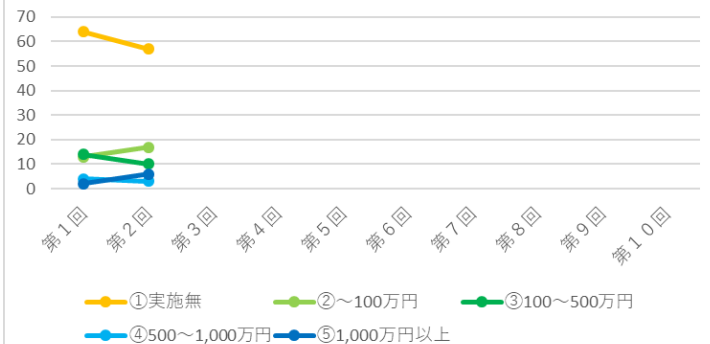
単位：件



直近6ヶ月の設備投資

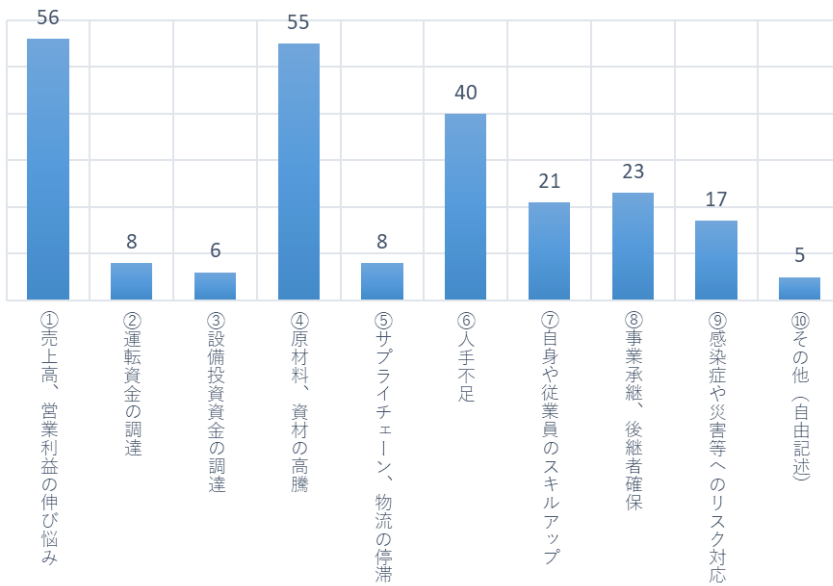


今後6ヶ月の設備投資見通し



経営課題、悩み事

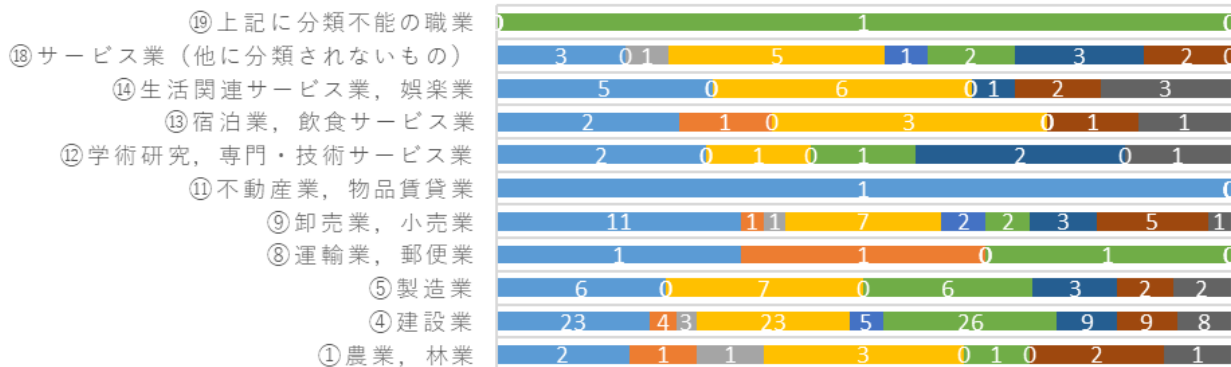
単位：件
(複数回答可)



経営課題、悩み事

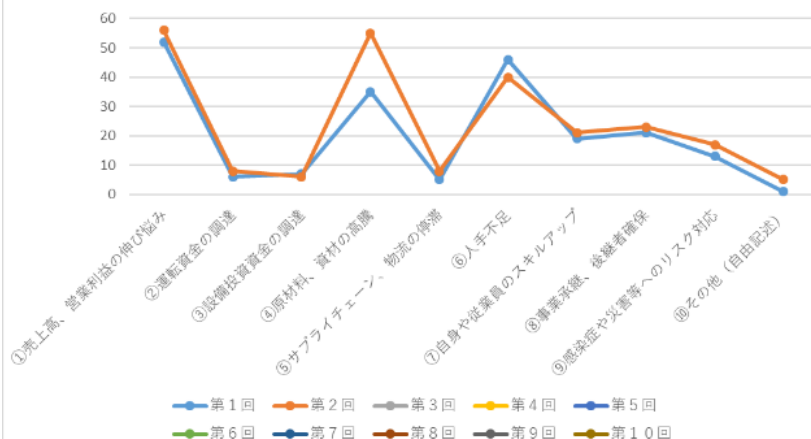
- ①売上高、営業利益伸び悩み
- ②運転資金
- ③設備投資資金
- ④資材高騰
- ⑤物流停滞
- ⑥人手不足
- ⑦スキルアップ
- ⑧事業承継
- ⑨リスク対応

単位：件
(複数回答可)



売上高、営業利益の伸び悩みは半数以上が該当し最多。原材料、資材の高騰が人手不足を上回り急増。今後の動向に注視が必要。
原材料、資材の高騰は業種を問わず影響が広がる。

経営課題、悩み事



現在の新型コロナの影響

- ①影響を受けている
- ②どちらかといえば影響を受けている
- ③どちらかといえば影響を受けていない
- ④影響を受けていない

単位：件



今後の新型コロナの影響見通し

- ①影響を受けている
- ②どちらかといえば影響を受けている
- ③どちらかといえば影響を受けていない
- ④影響を受けていない

単位：件



コロナの影響ありが優勢。

「どちらかといえば受けない」が減少し「どちらかといえば受ける」が増加。

現在の影響と今後の影響がほとんど同じ傾向のため、同じ事業者が継続して影響を受けるものと考えられる。

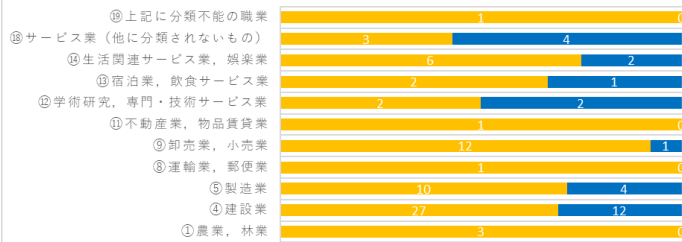
サービス（他に分類されないもの）と学術研究、専門・技術サービス以外はすべての業種でコロナの影響ありが上回る。

しかし、最近の物価高騰などは、コロナの影響かどうか判別がつかない可能性もある。

現在の新型コロナの影響

■あり ■なし

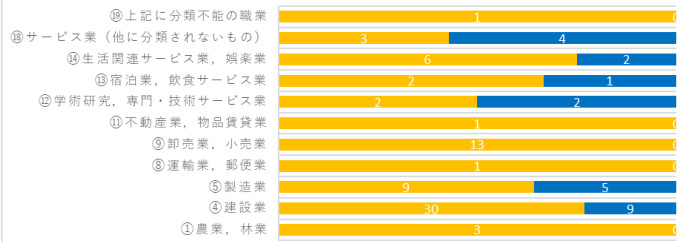
単位：件



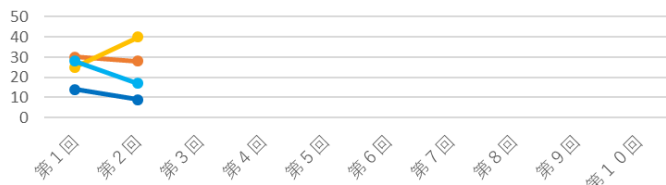
今後の新型コロナの影響

■あり ■なし

単位：件

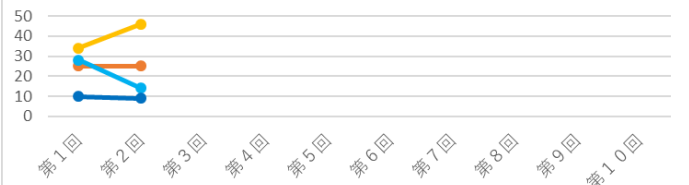


現在のコロナの影響



- ①影響を受けている
- ②どちらかといえば影響を受けている
- ③どちらかといえば影響を受けていない
- ④影響を受けていない

今後のコロナの影響見通し



- ①影響を受ける
- ②どちらかといえば影響を受ける
- ③どちらかといえば影響を受けない
- ④影響を受けない